

## 第6回滋賀県製品等を通じた貢献量評価手法検討会 議事要旨

日時：平成25年1月30日 13:30～15:30

会場：環びわ湖大学・地域コンソーシアム会議室

出席者：笠坊委員、橘井委員、梶山委員、竹内委員、仁連委員（座長）

（欠席者：橋本委員）

議題：（1） 「検討会とりまとめ」について

（2） 試行算定（部品軽量化の事例）について

議事概要：

### 1. 「検討会とりまとめ」について

- ・「検討会とりまとめ」を県で少し修正した上で「手引き」として公表予定である。（事務局）

#### （全体構成）

- ・参考資料1～3はマニュアルとして重要な部分であるため、それが分かるような構成にした方がよいのではないかと。
- ・実際に算定作業をする方の目の動線を意識したつくりにする。目次や構成の修正が最初に使い方を説明した図を入れるなどの整理が考えられる。（事務局）
- ・事業者には、なじみがない用語も多いため、用語集があるとよい。

#### （製品等を通じた貢献量評価の目的）

- ・p.3 下線部「・・・事業者の製品等の選択・使用を通じた応援等につなげる」の部分で、「応援」は資金的な助成と捉えられる可能性もあるため、「・・・関連企業に対する奨励、評価につなげる」などの表現に修正してはどうか。
- ・p.3 図中の「低炭素型製品」は、多くの事業者にわかりやすく「環境製品」に修正してはどうか。
- ・「LCA」の意味を知らない人も多いと考えられるため、説明を加えた方がよい。
- ・ネガティブな表現は避けて、ポジティブな表現にする等の点で、表現を修正してはどうか。「・・・低炭素型製品の開発の促進につながることも考えられます。」は「低炭素型製品の開発の促進につながることで、さらなる低炭素型社会の形成を加速する。」との表現とする。「一見製造時にCO<sub>2</sub>排出が増えるために環境に貢献していないように見える製品」という部分は「製造時のCO<sub>2</sub>排出に使用時の削減貢献を加味することにより」等の表現としてはどうか。
- ・「販売部署の自負や、モチベーションの向上・・・」は「販売部門のモチベーションの向上」としてはどうか。「部署」はやや狭い印象を受ける。
- ・目的では、製造段階だけでは貢献はわからないということを伝えたいため、記述の

量は増えるかもしれないが、冒頭の文章は分かりやすくなるよう検討する。(事務局)

#### (貢献量の定義)

- ・ p.5 で「ホテルによるレンタサイクルサービス」は、「レンタサイクルサービス」のみでよいのではないか。

#### (評価する製品等の範囲)

- ・ 製品の区分の設定についての記載は抽象的でわかりづらいため、表現を修正する。

#### (評価する時間軸)

- ・ 表中の「評価対象年」との表現は、「報告対象年」と同様の意味で用いているが、評価する対象が一年のみであるかのような誤解を招く可能性があるため、表現を修正する。
- ・ 表中には、選択肢のデメリットも記載されているが、メリット・デメリットを参考として提示する、という考え方で記載を残す。

#### (評価する活動範囲)

- ・ ①と②の図で【排出小】【排出大】の意味が異なっており、わかりづらいため、図を修正する。排出量が多い部分は矢印を大きくするなど可視化するとわかりやすくなるのではないか。

#### (部品・素材の貢献量評価)

- ・ 図中の方法2の特徴の説明文中、「方法1と比べると削減効果の妥当性が低くなる場合がありますが、」は削除する。方法2の特徴は、「削減効果を各事業所で定める指標に基づき按分する方式であるため、比較的簡便に算定できる可能性がある。」、「指標の選定によって結果が大きく異なり、指標の選定が難しい。」等の表現とする。

#### (主要な条件設定のまとめ)

- ・ 「8. 部品素材の貢献量評価」の「効果発現製品の貢献量の把握に留める」の表現は、「部品・素材の貢献量評価」の章と統一した表現とする。(事務局)
- ・ 部品・素材に起因する貢献量の算定については、「可能な場合」という表現のままとする。

#### (参考資料1 算定作業シート)

- ・ 算定シートの削減量の枠に何%削減したか、削減率を記入する欄があっても良いのではないか。

### (参考資料3 貢献シナリオ)

- ・参考情報の「燃費改善要因及び燃費改善率」については、何と比較した削減率であるか、記載した方がよい。
- ・貢献量を初めて算定する人にとっては表現が難しい部分があるため、よりわかりやすい表現に修正する。

### (参考資料5 情報源情報)

- ・資料タイトルは「情報源情報」ではなく「情報源一覧」の方がよい。
- ・カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム CFP 算定用二次データは、カーボンフットプリント以外の用途に使用できない、との制限がある。算定する事業者が詳細なバックデータを公開するわけではないが、折をみて確認する。(事務局)

## 2. 試行算定（部品軽量化の事例）について

- ・部品軽量化の事例については、前回検討会議で懸念事項も挙げられたが、資料3の検討結果をふまえ、手引きにおいても掲載することを考えている。(事務局)

## 3. スケジュール

- ・2月中に検討会とりまとめとして決定し、年度内に県の手引きとして公表予定である。

以 上